

米の供出始まる

冷害の年 米の出来は？



実りの秋を迎え、米の供出が10月21日から始まりました。

22日にはJAそうま飯桶支店で初検査が行われ、地元住民らとJAそうまの職員らが次々に米の入った袋を量りに載せ、慎重に検査を行っていました。

今年では低温と日照不足により米の出来具合が心配されていますが、10月24日現在でJAそうま飯桶総合支店がまとめた数字によると、供出数は、一般・もち米合わせて60キログラムの袋で約8、000袋、等級はあきたこまちで1等米が全体の45%とのこと。

また、一般・もち米ともに2等米以上の割合は全体の90%となっており、



▲検査のようす

心配された規格外の米はほとんど出ていないとのことでした。

先日の広報でもお伝えしたとおり、今年の冷害

に対して、村では対策事業を行っています。

詳しくは、産業課
(☎42-1622) まで。

「声かけ」「連れまわし」未然に防止

小中学生に防犯ベル貸与



▲貸与式のようす (写真は草野小)

防犯ベル貸与式は10月14日に役場第一会議室で行われ、村内の小中学生全員に防犯ベルが貸与されました。

これは、原町警察署管内で最近声かけ事件等の子供たちの事件が増えていることから、子供たちを犯罪から守ろうと同署が行ったものです。

このブザーは大きさは手のひら程度、スイッチを押すか、かけられた紐を引き抜くことで作動する仕組みになっています。

式の中で同署の飯塚康治副署長から「ぜひ皆さんが学校に戻ってからブザーの使い方をお友達に教えてあげて、危険から身を守るようにしてください」とあいさつが述べられました。

また、今回の防犯ブザーの貸与を受け、今野哲生草野小学校長は「子供たちに使い方を教えながら犯罪防止に努めたい」と学校側を代表してあいさつを述べました。